



\*1201100595653\*



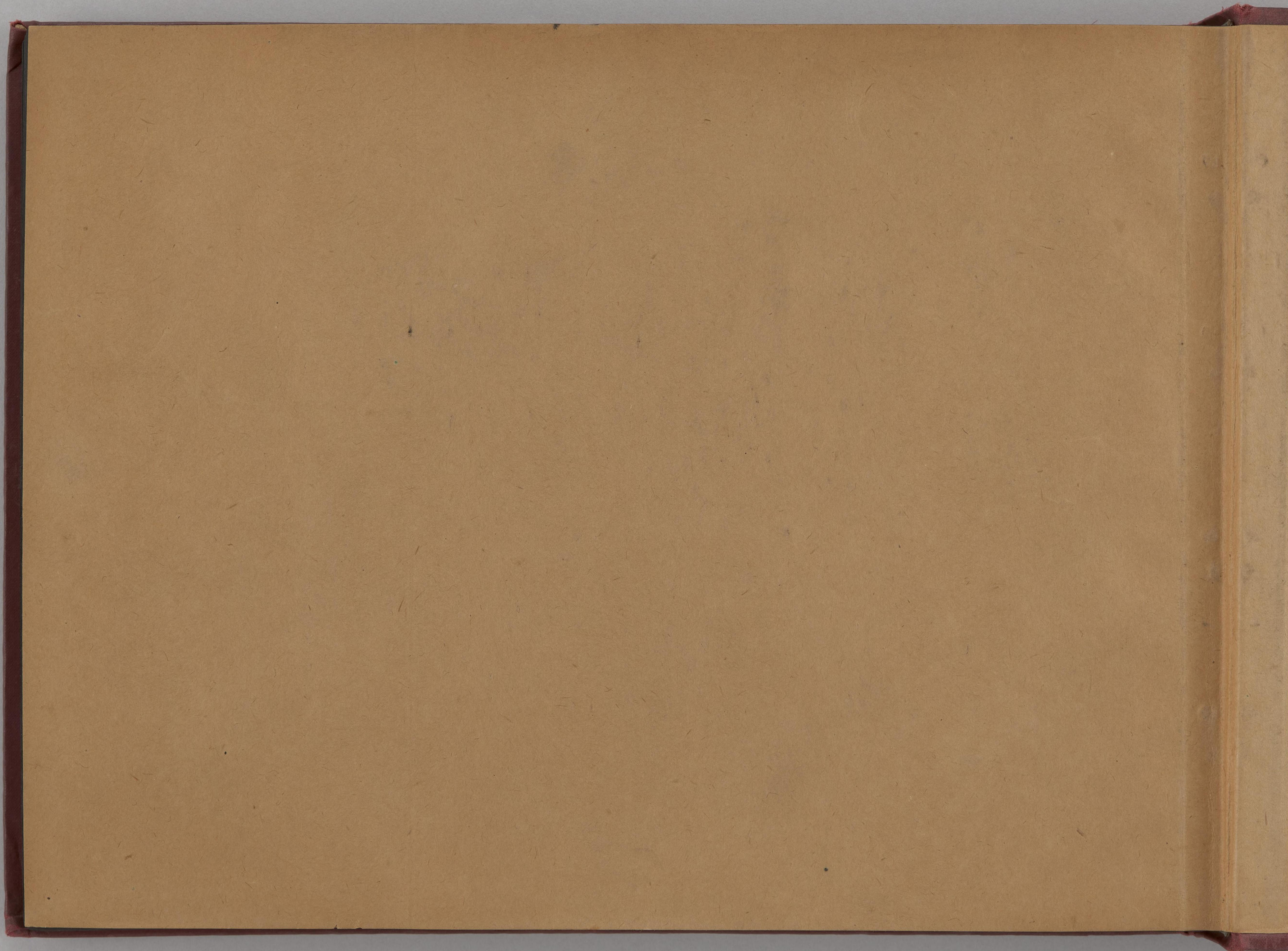
禁電子式複写



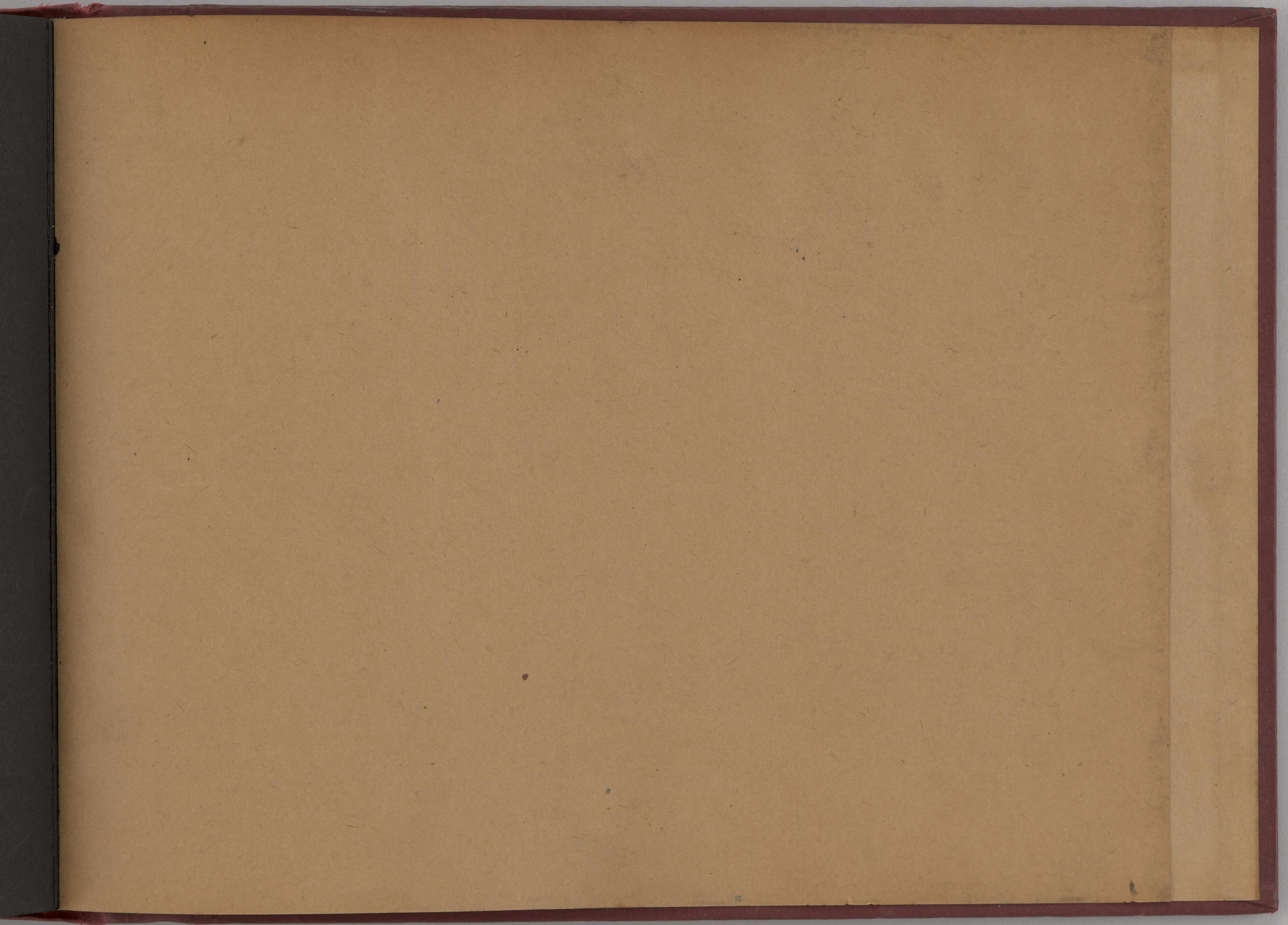


















同盟

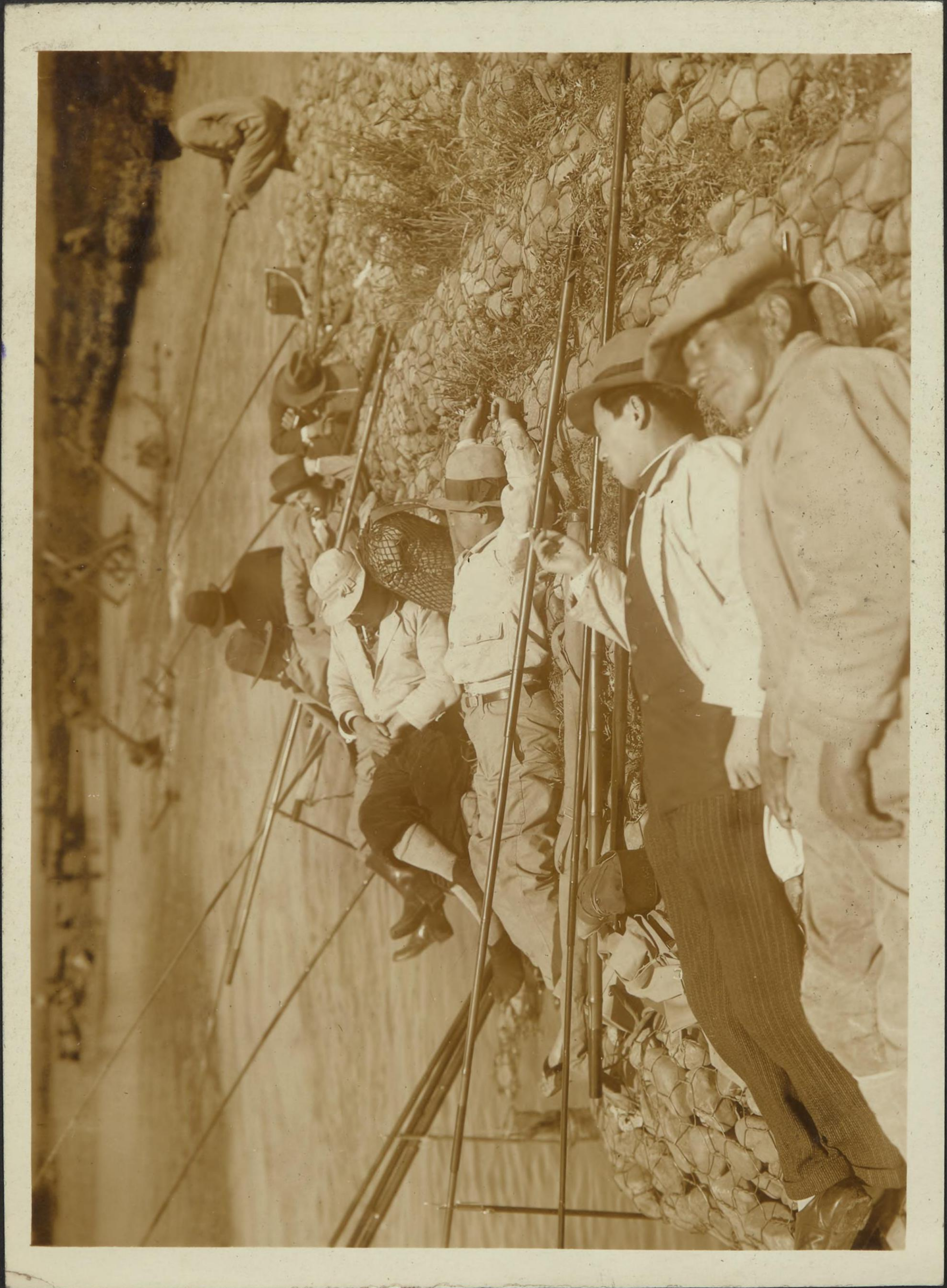
スケッチ寫眞通信

六月一日

◎鮎漁解禁

|| 多摩川にて







◎初夏の太陽輝く自由の空に  
五・一五事件の十君  
心も晴れてけふ出所！

（東京）十一年六月一日

吹き荒れた五・一五の嵐に参加して蹶起した  
陸軍側の當時士官候補生十一名は一律に禁錮  
四年の刑を言渡されて病のため昨年四月假出  
所した後藤映範君を除く中島忠秋（二八）篠  
原市之助（二八）八木春雄（二七）石關榮（  
二七）金清豊（二七）野村三郎（二六）西川  
武敏（二六）菅勤（二六）吉原政巳（二六）  
坂元兼一（二六）の十君は恩赦に浴した、め  
愈々昨五月卅一日を以て刑期を滿了、一日午  
前十一時下獄以來二年八ヶ月十日振りで折柄  
梅雨模様の空も晴れ初夏の太陽輝く自由の青  
空の下に出獄、宮城遙拜の後神宮參拜、神前  
に奉告した

寫眞は

一、明治神宮參拜







◎學士院授賞式

(東京) 十一年六月一日

帝國學士院では一日午後二時半から上野の同院で第二十六回授賞式を舉行、恩賜賞小川尙義氏以下三氏、帝國學士院賞移川子之藏氏、東京御成婚記念賞末永雅雄氏以下四氏に對し夫々授賞された

寫眞は

一、前列(左より)小川尙初、佐々木隆雄、  
移川子之藏、後列(同)宮田雅治、島田  
敏雄、後列(右より)末永雅雄、諸氏







◎オリムピック招致に大御心  
一出發を前に副島伯爵拜謁一

(東京) 十一年六月二日

畏きはスポーツ日本に奇せたまふ大御心、天皇陛下にはかねてスポーツ日本の情勢に御留意深く故體協會長桂清一博士よりオリムピックに關する御進講を申し召された事あり目下國民を擧げての沸騰の的ベルリンオリムピックに於ける日本選手の活躍及び次に來るべきオリムピック東京招致問題にも益々御關心を持たせられオリムピック委員會出席のため明後四日病を押して出發する副島伯爵に對し二日午前十一時特に拜謁仰付けられ賢所參拜の儀を差許された

寫眞は

一參内の副島伯爵







同盟 寫眞ニユース 第五號

◎帝國水難救濟會總會

（東京）十一年六月二日

第四十四回帝國水難救濟會通常總會は畏くも  
伏見總裁宮殿下の台臨を恭ふして二日午前十  
時より兩國國技館に於いて開會、會長の事業  
報告終つて殿下には令旨を賜ひ首相始め各關  
係大臣の祝辭あり殿下には御退場、總會終了  
後餘興に入り大相撲を觀覽午后四時散會  
寫眞は

一、總裁宮殿下の令旨







◎帝國軍人後援會四十年記念式

Ⅱ 閑院總裁宮殿下台臨

(東京) 十一年六月三日

帝國軍人後援會では創立四十周年を迎へ三日午前九時二十分より帝國劇場に於て閑院總裁宮殿下の台臨を仰いで盛大な式典を催した、會するもの會長清浦奎吾伯以下職員を始め遠く朝鮮、滿洲等全國の各支會々員、聯隊區司令官等一千五百名その他安田善次郎、古河虎之助、藤山雷太氏等實業家、名士を網羅し華々しく開會、總裁宮殿下より令旨を賜はり清浦會長より奉答辭を奉り來賓の各府縣知事を代表して横山東京府知事の祝辭に次いで記念の表彰式に移つた

寫眞は

一 閑院總裁宮の令旨奉戴







◎二・二大事件の百ヶ日を迎へて

追憶新たな高橋家

(東京) 十一年六月三日

明四日は雪の二。二六から早くも數へて百日目だ、百ヶ日法要を前に當時の追憶に涙も新たな犠牲者のうちにも赤坂表町の高橋家は水々しい若葉に覆まれてゐるが古めかしい家に「高橋」とのみ記された眞新しい表札がかゝり打しめつた空氣に消えぬ生々しい思出が漂つてゐる、三日は午後七時半からしな子未亡人、是賢子以下親族が集まり青松寺住職杉村哲夫師を招いてお建夜讀經をなし四日午前十一時打揃つて多磨墓前に参拜、午後三時から芝青松寺で百ヶ日法要を行ふ筈である

寫眞は

一、靈前に獻物のしな子未亡人







◎殉職五警官百ヶ日忌

(東京) 十一年六月四日

過ぐる二。二六事件に警官の花と散つた殉職五警官の遺族には其の後各方面の同情拿然と集り二十數萬圓の巨額に上つた同情金はそれぞれ遺族に傳達され何れも感謝と安心の生活を靜かに送つてゐるが、小館喜代松巡查未亡人は盛岡市仁王第三樹割平山小路七七の郷里へ二人の娘を連れて、又皆川巡查の未亡人は老兩親と共に茨城縣東茨城郡上野青村字小埜一二八三、清水巡查の遺族は葛飾區新宿町の郷里へ夫々引き上げた他村上、土井兩氏遺族は荒川區南千住七ノ六二、世田ヶ谷區赤堤町一ノ一六に各々亡き主の冥福と愛兒の養育に餘念ないが、今四日百ヶ日を迎へて五靈安らかに眠る多摩墓地に午前十時から納骨式を行つた

寫眞は納骨式







◎凱旋將軍參内軍狀奏上

(東京) 十一年六月四日

北滿警備の重任を果して凱旋した第三師團長  
伊東政喜中將は四日午前九時十六分東京驛着  
時れの入京をなしききに入京した前駐屯軍司  
全官現第十一師團長多田中將と共に午前十  
時参内、官中表御座所には天皇陛下に拜謁、  
閣院參謀總長官殿下御参列、寺内陸相、宇佐  
美侍從武官長等待立の下に夫々軍狀を奏上、  
種々御下問に尋答優渥なる御慰勞の御言葉を  
賜はり御前を退出、正午より千種間に於て參  
謀總長官殿下御臨席、寺内陸相、中村教育總  
監代理、松平官相、宇佐美武官長其他列席の  
下に兩中將は賜養の榮を拜し午后一時頃感激  
官中を退下した

寫眞は

御軍容の兩將軍 (左伊東中將、右多田中將)







◎七十の老軀を機上に

|| 頼母木遞相空の旅 ||

(東京) 十一年六月五日

七十歳の老軀を提げて大臣空の旅のトップを切り福岡まで飛翔する頼母木遞相は五日午前十一時自動車で羽田飛行場に到着、片岡航空局長、阿部秘書官、安邊日本空輸運航課長等と共に休憩室に少憩後各地の天候を氣にしているたが問題の箱根は二十キロ句至五十キロは見透しがつき龜山は雲なしといふ情報に喜び勇んで片岡航空局長、阿部秘書官と共に鳥居飛行士操縦、川井機關士同乗のスーパー機上の人となつた

寫眞は

一、空の旅の頼母木遞相







◎畏し體育御獎勵の思召

『オリンピック派遣選手に御下賜金

(東京) 十一年六月五日

體育御獎勵に深く大御心を注がせ給ふ天皇陛下には今夏ベルリンで催される第十一回オリンピック大會に對し我が日本からも多數の選手を派遣することになつた趣を聞こし召され右派遣費御補助の思召しを以て金一封御下賜の御沙汰があり平沼大日本體育協會副會長、岩原文部省體育課長は聖旨に感激、五日午前十一時宮内省に出頭、松平宮相から拜受した尙今同オリンピック大會への選手派遣御補助費は先年ロスアンゼルス第十回大會の際と今回で二度目であるが御下賜金は前回第十回大會を以て中止される筈であつたが次期大會東京開催の促進の旨を以て特に御下賜になつたものである

寫眞は  
平沼副會長







◎七日の鹿島立を前に

陸上代表鎌倉八幡宮で結團式

(東京) 十一年六月六日

七日ベルリンへの晴れの征途に上る我が陸上  
オリムピック代表男子三十六名女子七名は紺  
のオリムピック制服に身をかため平沼團長、  
澁谷總監督、沖田ヘッドコーチ以下役員に引  
率され六日午前八時四十分鎌倉驛に下車直ち  
に昨冬以來の合宿練習で由縁の「オリムピッ  
ク氏神」鎌倉八幡宮に武運長友を祈るべく一  
同揃つて拜殿に進み申島宮司司式の下に修祓  
神饌、祝詞あり、終つて君ヶ代を合唱、大島  
主將の宣誓に結團式を終り平沼團長以下玉串  
を捧げて拜禮必勝のお守を頂いた  
寫眞は

一、鎌倉八幡宮にて







◎「大澤さん勝つてネ」  
母校精華女學校の送別會

(東京)十一年六月六日

九段の精華女學校は二人のダイビング選手  
生んだ、然かもその二人が仲のよい姉妹で  
人が主將で——と云ふ二人はオリムピック女  
子ダイビング主將大澤政代(二四)さんと妹  
の禮子(二二)さんだ、母校精華女學校同窓  
會では母校の名譽でもあり如何しても二人を  
勝たして上げませうとて六日午後一時から盛  
んな激勵歡送會を校庭で催した

寫眞は

一、取巻かれた大澤政代(左)さんと禮子(右)さん







同盟 寫眞ニヨリス 第一編

◎オリムピツク陸上陣征途を前に

↓明治神宮に戰勝祈願↓

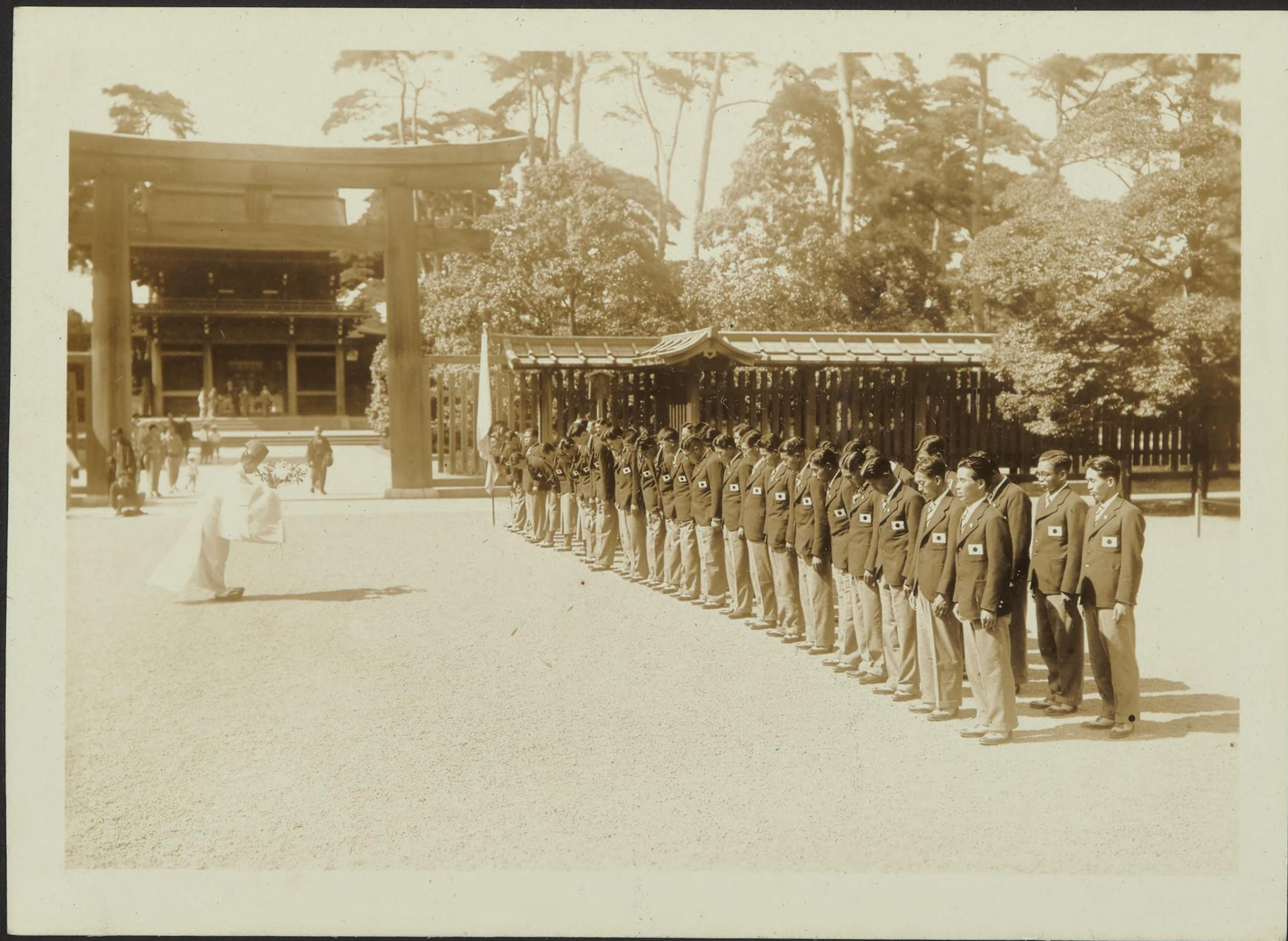
(東京) 十一年六月七日

ベルリンの覇者を目指すオリムピツク代表選手陸上第二陣總監督澁谷壽光、ヘッド・コーチ沖田芳夫兩氏以下本隊五十一名の一行は七日午後九時東京驛發列車で盛んなる歡送裡に勇躍晴れの征途についた、一行は出發に先立ち午後一時丸ノ内ホテルに勢揃ひして同二時より明治神宮後宮城を遙拜して戰勝祈願をこめた

寫眞は

一、明治神宮參拜の一行







同盟 寫真ニュース 第二號

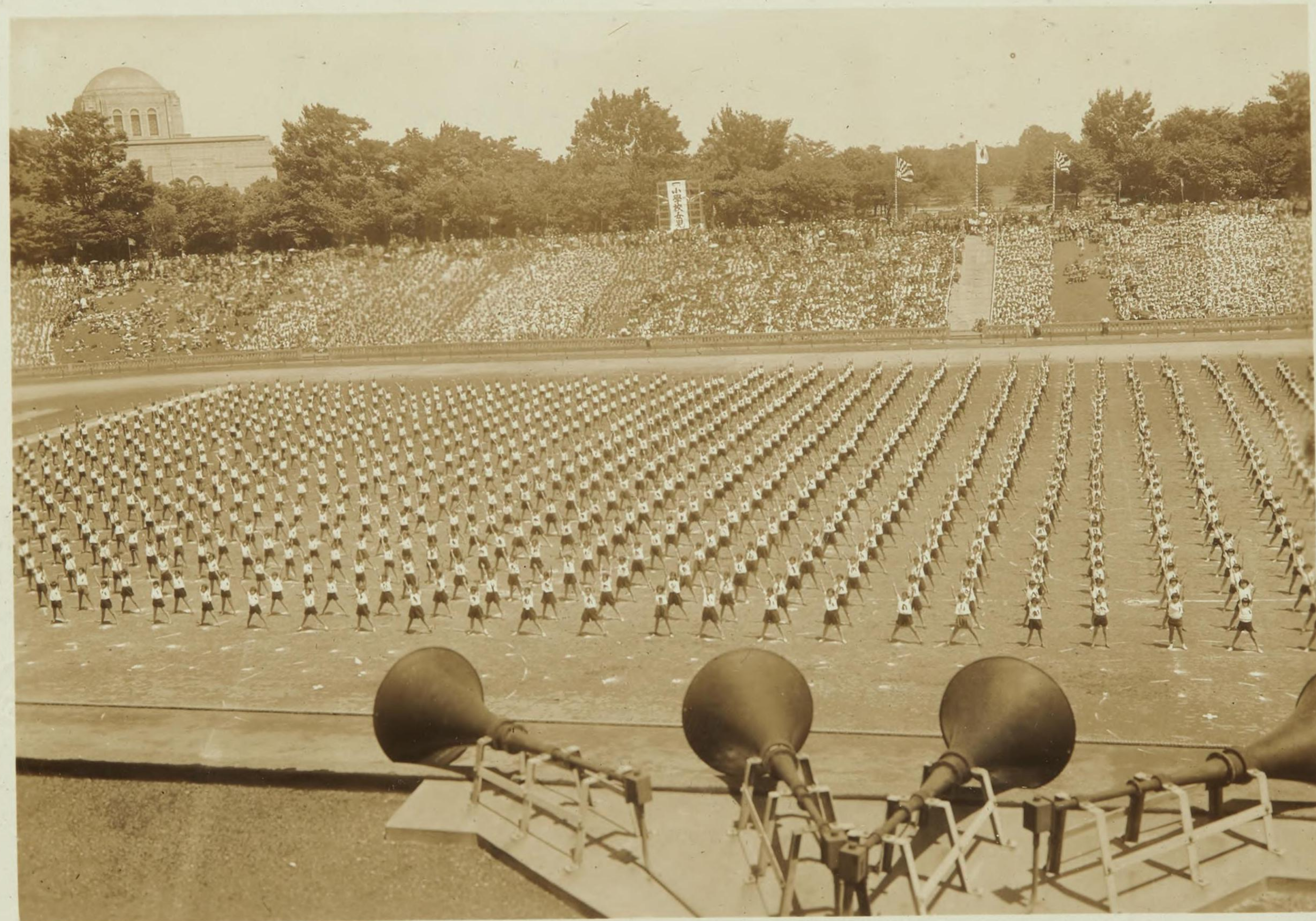
◎青葉に映る若人  
一萬六千の群像亂舞

(東京) 十一年六月七日

躍進日本の健康と氣魄を象徴する文部省主催  
全日本體操聯盟後援の第二回「日本體操大會」  
は七日正午より新綠滴る神宮外苑競技場に於  
て男女中等學校一萬六千の若人が出場して舉  
行、力の躍動と統制美に滿場を魅了しつくし  
た

寫眞は 男子 女子 合同體操







同盟 寫眞ニニ！ス 第四號

◎軍令部總長官殿下

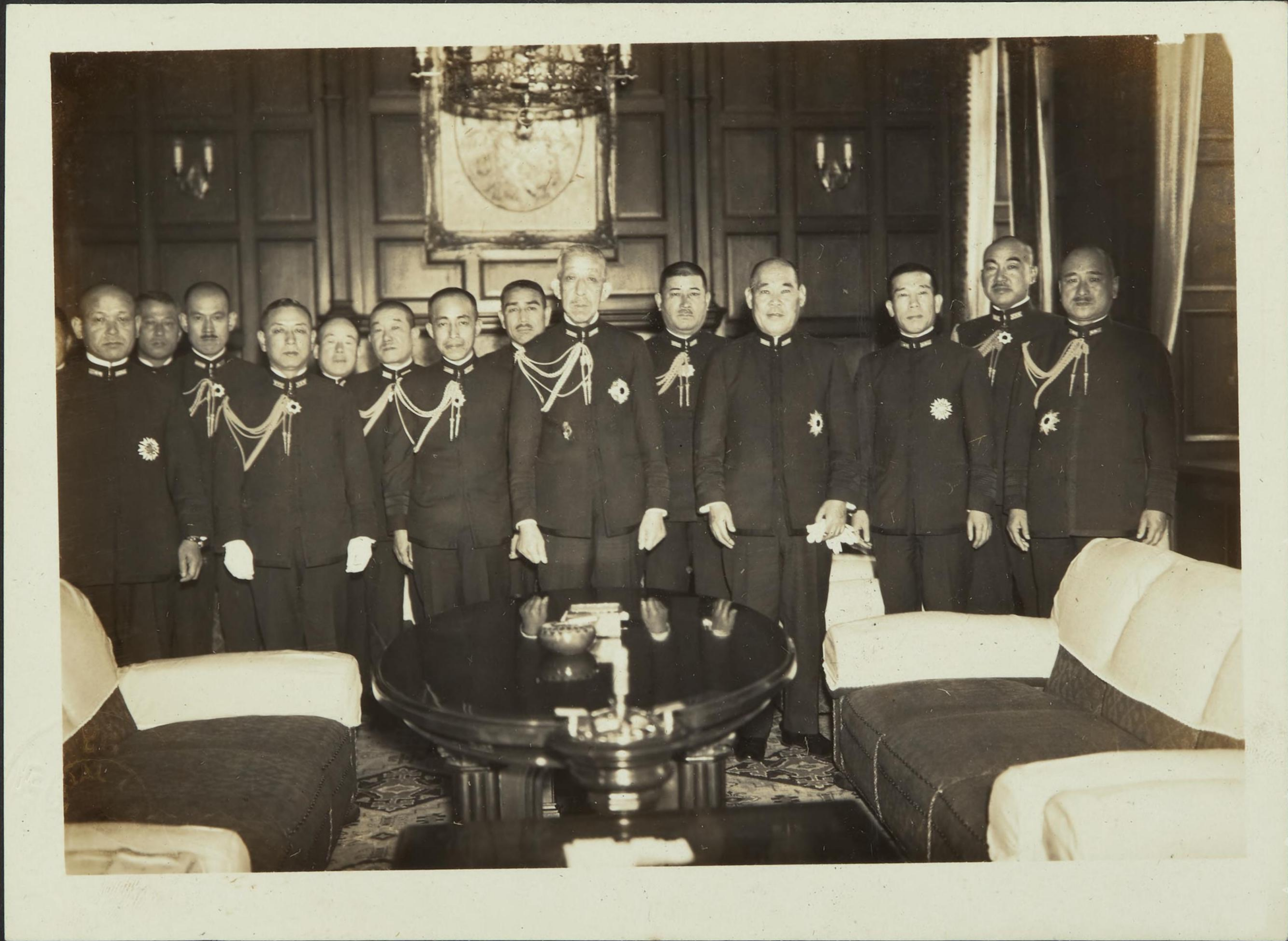
海軍參謀長會議關係者御招待

(東京) 十一年六月八日

五日より開會の海軍參謀長會議は既に軍令部所管事項に關する指示協議を終り八日より海軍省所管事項の協議に入つたが同日午前九時省内會議室に開會、劈頭永野海相より明年度以降の無條約狀態に對應すべき新軍備計畫に關しその所信を表明し内外の非常時局克服のため部内上下一致邁進すべき旨を訓示し次で重要協議に入つたがこの日正午伏見軍令部總長官殿下には會議關係者御慰勞の恩召を以て一同を芝公園水交社に召され午餐を賜つた

寫眞は  
一、水交社にて







◎海波を蹴立て、

練習艦隊横須賀拔錨

(横須賀) 十一年六月九日

吉田善吾中將指揮の練習艦隊警手、八雲兩艦は兵科、機關科、主計科の各少尉候補生並に軍醫中少尉、研究學生を乗せて九日午前十一時三十分横須賀軍港を拔錨した、之より先伏見軍令部總長宮殿下御使堀江武官、軍令部總長宮代理島田中將、海軍大臣永野大將外大角未次、野村各軍事參議官、永田海軍參與官、住山教育、小林人事、村上經理各局長、其他海軍省部長等數十名は同艦隊に至り永野海相は午前十時各候補生を警手艦上に集め一場の訓示をなした

寫眞は

一、横須賀出港の八雲 (右) 警手 (左) 一横

鎮檢閱濟一







同盟 寫眞 ニ ュ ー ス 第 四 號

◎ 淺野長勳侯入京

(東京) 十一年六月九日

伊豆修善寺温泉で長旅の疲れを休めてゐた淺野長勳侯は醫師、家扶、女中等九人の供衛ひで九日午後一時二十八分沼津發特急富士號に乗車廣島出發以來丁度十六日目の同日午後三時二十五分東京驛着入京した

寫眞は

一、入京の淺野侯







同監 寫眞ニユリス

◎米大統領夫妻を墨繪で描く  
子女親善使節から贈呈

(東京) 十一年六月八日

ルーズヴェルト米大統領アンナ夫人をお揃ひ  
で純日本風の墨繪に描き横二尺縦一尺五寸の  
絹地に収めて本仕立の金線表装をした珍らし  
い掛軸が富の大統領夫妻に贈呈される、繪も  
美事で表装の日本趣味の調和も良く珍らしく  
始めて毛筆で肖像を描かれた大統領も大ニコ  
ニコで受けるに違ひない出来榮えだ、これは  
國際子女親善協會からの贈物で筆者は宮久保  
英雄氏、長さ三尺の桐二重箱に収めてある、  
同會から日米親善のため派遣される女性文化  
使節機部幸子嬢(二三)は東京市長より米國  
各市長へ贈るメッセージ各女學校メッセージ  
等と一緒にこれを携へ十一日午後三時横濱出  
帆の秩父丸で渡米の途につく  
寫眞は

一、米大統領へ贈らるる掛軸







同盟 寫眞ニユース 第三號

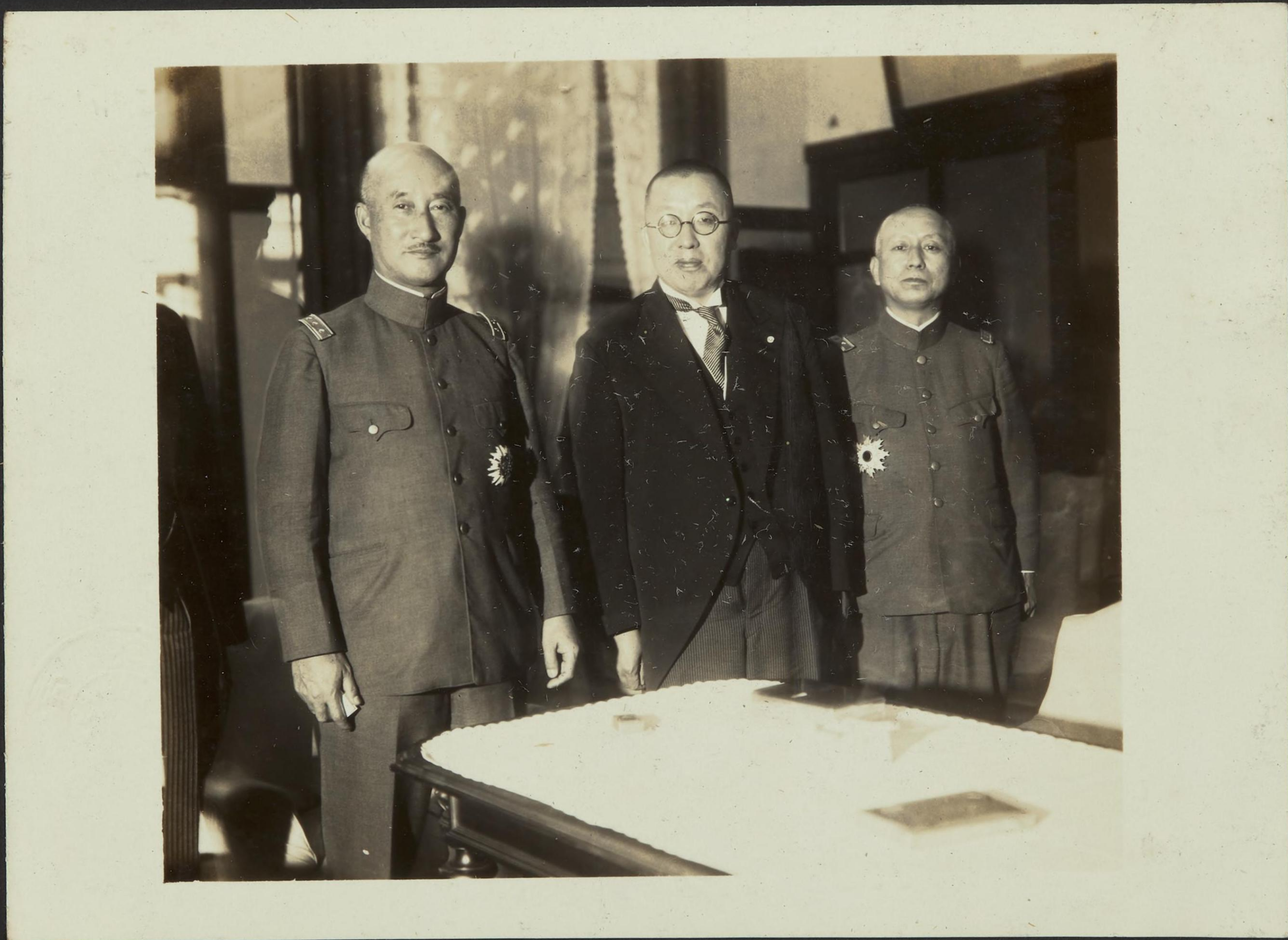
◎陸相李交通部大臣招待

(東京) 十一年六月十日

目下來朝中の滿洲國交通部大臣李紹庚氏は十日午前十時官邸に寺内陸相を訪問、來朝の挨拶を述べ種々懇談を重ねた後參謀本部に西尾次長を訪問、同様挨拶したが寺内陸相は同日正午官邸に李大臣一行を招待寺内陸相以下梅津次官、磯谷軍務局長等出席午餐會を催し日滿親善其他に關して懇談を重ね同一時半散會した寫眞は

一、李大臣、陸相會見(向つて左から寺内陸相、李大臣、梅津次官)







同盟 寫眞ニユース 第四號

◎日の丸のユニフォームつけて  
水上代表軍勢揃ひ

(東京) 十一年六月十日

十一日夜九時代表軍の殿軍として東京驛を出  
發、水上日本の威力を中外に宣揚すべき我が  
水上代表軍一行のユニフォームが見事に出來  
上つたので十日午前一同之を着用胸に輝しき  
日の丸の色も鮮かに神宮プールに勢揃ひ、初  
夏の香高いプールに飛び込んで冲天の意氣を  
見せた、一行は十一日神宮參拜祈願の後最後  
の輝き練習を同プールに行ひいよ、壯途に  
つくこととなつてゐる

寫眞は

一、神宮プールにて







◎改装の官邸日本間から

妖氣一掃のお祝ひに尼さん參上

(東京) 十一年六月十一日

五・一五、二・二六と相踵ぐ兇變に恐怖の舞  
台となつた永田町首相官邸の裏手日本間は、  
廣田首相も縁起をかついで外相官邸を占據し  
て起居し首相官邸へは執務にのみ出かける有  
様だがこのほど内部の改造に着手しこの十五  
日には完成する運びとなつてゐるがこの不祥  
事頻發の官邸から妖氣を祓ふため新潟縣小出  
町の尼僧學林の尼さんばかり二十五名の祈禱  
團が午前十一時半頃官邸裏門に當る書記官長  
官邸前道路からお祓ひの讀經回向を行つた

寫眞は

一、尼さんの回向







◎斜里岳始めて開放  
觀測小屋に仁科博士を俟つ兩技師

（上斜里同盟特派員）十一年六月十一日發  
五月末仁科觀測隊の石井、關戸兩技師が登山  
したのと一般の入山が禁止されてゐた斜里岳  
が十日新聞通信社特派員に限つて開放された  
亭々たる針葉樹林帶を過ぎて尺餘の積雪の中  
に雪解の奔流渦巻く溪を涉り六時間餘を費し  
て八合目の觀測小屋に着いた。小屋は二間に  
五間の白木造りで觀測室、居間、臺所の三つ  
に仕切り宇宙の謎を解く仙人の住家とは見え  
ぬスマートさだ。此の中では三〇〇貫の宇宙  
線觀測計に依つて既に一日から觀測が續けら  
れてゐるのだ。石井氏は語る  
仙人になれば食べ物は何も不自由はない、  
罐詰は仁科先生が來られてから開けるつも  
りです。温度は日中十三度、ちつとも寒  
くない。二人隔日交替二十四時間勤務で仕  
事をしてゐる

- 寫眞は
- 一、積雪の斜里岳登攀
  - 一、宇宙線觀測小屋（右石井千尋、左關戸彌太郎兩技師）
  - 一、小屋より斜里岳を望む







◎淺野侯兩陛下に拜謁

(東京) 十一年六月十一日

麴香間祇候從一位勳一等淺野長勳侯は時局多  
端の折柄天皇皇后兩陛下の天機並に御機嫌を  
奉仕の爲め去る九日廣島から遙々上京したが  
天皇陛下には十一日午后三時老侯に對し特に  
拜謁仰付けられる旨御沙汰あらせられた、光  
榮に感激の侯爵は九十五歳の老驢に久方振り  
にフロックコートを着けて儀容を正し家扶等  
に守られて午后二時半頃自動車で本郷彌生町  
の侯爵邸から五年振りに參内、宮中御學問所  
に於いて天皇陛下に拜謁仰付けられ恭々しく  
天機を奉仕し皇恩に對し御禮言上したが陛下  
には深く御満悦の御様子にて老侯を勞はらせ  
られつつ茶菓を賜はり御寛ぎの中に何かと御  
仁慈あふるる御言葉に感泣したと承はる

寫眞は  
一、拜謁の淺野侯







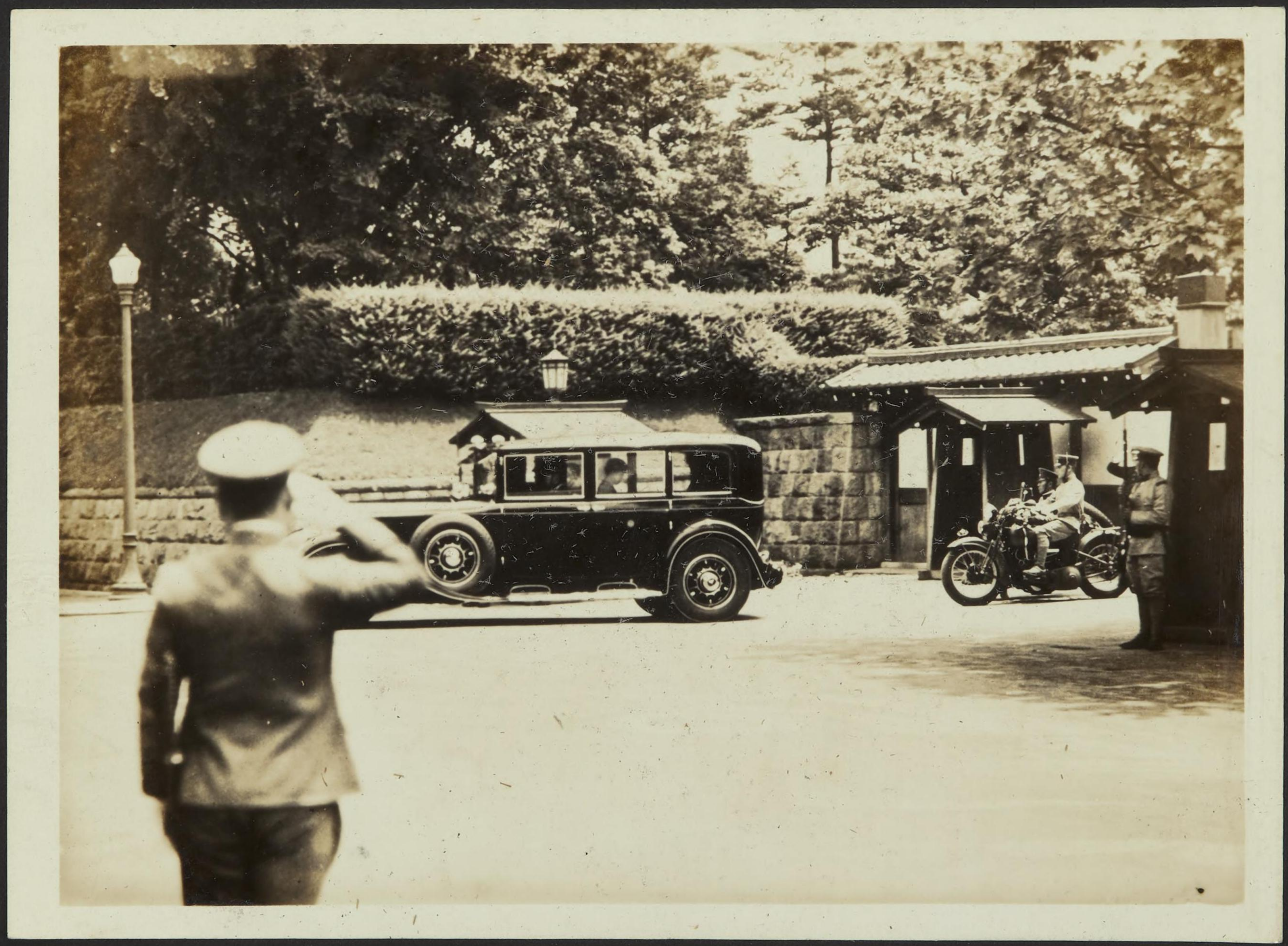
◎皇太后宮御久方振りの參内

(東京) 十一年六月十二日

皇太后陛下には十二日御久方振りに御參内、  
天皇皇后兩陛下の御機嫌を伺はせられ、午  
は親しく紅葉山御養蠶所の御養蠶を御覽あら  
せられた。二・二六事件以來御初めての行啓で  
陛下には大谷大夫、竹屋典侍以下を從へさせ  
られ午前十一時半自動車にて大宮御所御出門  
御參内、天皇皇后兩陛下に御對面、御機嫌を  
伺はせられ初夏の御挨拶を御交換、皇太子殿  
下、義宮様、順宮様方にも御對面、正午御揃  
ひにて午餐を召され午後は皇太子殿下、義宮  
様、順宮様方を御中心に御情愛一入濃やかな  
る中に種々御團欒あらせられた  
寫眞は

一、大宮御所にて謹寫







◎ 自慢の赤ちゃん堂に溢る  
陸海兩省も乗出して  
五日間品評會

(東京) 十一年六月十三日  
將來の日本に備へるための赤ちゃん審査會が  
日本兒童愛護聯盟主催で十三日午前九時から  
高島屋八階で開れた。新日本發展の原動力で  
あり殊に男の赤ちゃんは二十年後には壯丁だ  
とあつて從來この種の社會事業に積極的の後  
援しなかつた陸海兩省もそれれ醫務局から  
軍醫を派遣して徴兵検査を二十年繰上げて實  
施した。東京を中心にして近縣から集つた九百人  
の赤ちゃん身長は身ぐるみはがされて素ツ裸とな  
り目方、身長その他健康状態全般に亘つて審  
査され譯が判らず皆んなキユーピー・みたいな  
お眼々で吃驚ワア・ワア・キユーピー・みたいな  
十時半頃來場した名譽會長永井柳太郎さんも  
一仲々立派な赤ちゃんばかりで末頼母しい  
と悦み入る。この會は今日から五日間續けて  
申込済みの四千五百人の赤ン坊を母乳・牛乳  
との育成状態比較、兩親の都市農村等出身別  
に依る生兒の健康調査その他全般につき精密  
に調べて統計をとる保存する  
東京の兩病院小兒  
寫眞は  
赤ちゃん審査會







◎高松宮慶大醫學部御成り  
加藤博士の實驗に御興深し

(東京)十一年六月十三日  
學術に對して深き御關心を有せられる高松宮  
殿下には日本醫學の進歩發達の現狀御視察の  
思召を以つて十三日午後一時半妃殿下御同伴  
にて信濃町の慶應義塾大學部に御成りあらせ  
られた、この空前の光榮に輝いた慶應醫學部  
では小泉學長をはじめ北島醫學部長以下教授  
團その他職員學生一同謹んで殿下の御着を御  
迎へ申上げ殿下には御少憩の後學部長から慶  
應醫學部の歴史、現狀特に基礎醫學に關する  
進歩現況についての御説明を熱心に聽召され  
た後學部長の御案内で豫防醫學各室を御巡覽  
遊ばされたが中でも生理學教室の加藤元一博  
士の指導する「神經の傳導を觀且聽く實驗」  
並に昨夏ソ聯の萬國生理學大會で各國醫學者  
を驚かした「單一神經纖維の生體摘出の實驗」  
一條件反對の實驗」等の實驗操作を殊に熱心  
に御見學約一時間に亘つて實驗を御覽せられた  
寫眞は

一、元一博士の「加藤元一博士の法見」







同盟 寫真ニニ一ニ 第一號

◎田村博士指南番で

女性弓道場開始

(東京) 十一年六月十四日

東京女子醫學專門學校では今回牛込河田町同  
校構内に美事な弓道場が新設されたので今  
十四日午前九時から皮膚科教授田村博士が萬  
事の司會者となつて華々しい開場式を舉行  
した

寫真は開場式







同盟 寫眞ニユース 第三號

◎故澤モリノ記念碑除幕式

(東京) 十一年六月十四日

石井漢氏をはじめ舞踊界では故澤モリノを記念する會を作りその墓碑を作りつつあつたがこの程完成したので十四日の命日午前十時から多摩墓地で盛大な除幕式を行つた

寫眞は

一、除幕式







◎空の天文臺飛ぶ

（女滿別にて特派員）六月十四日發

女滿別の飛行場で豫て組立整備中の空の天文臺  
東京中央氣象臺のイスパノスイザー根岸  
觀測機は十四日完成、根岸飛行士操縦、森谷  
村長同乗、午前十一時初の試験飛行を行つた  
三十三センチの早乙女博士の大望遠鏡をかす  
め約三十分間に亘り好成績を納めた  
寫眞は

一、飛ぶ空の天文臺と完成した根岸觀測機







◎三相庶政革新訓示

||地方長官會議第一日||

(東京)十一年六月十五日

特別議會の後を承けて十四日召集された地方長官會議は十五日午前十時より永田町首相官邸に第一日の會議を開會

政府側より廣田首相以下各閣僚(島田農相は旅行缺席)藤沼書記官長、次田法制局長官、吉田調査局長官、石田警視總監、中島憲兵司令官、地方長官側より池田北海道長官、横山東京府知事以下各府縣知事出席。勞頭廣田首相聖旨を奉讀して愈々庶政一新に邁進する政府の所信を披瀝し各地方長官の努力を期待する旨の訓示をなし次いで有田外相林法相より訓示があつた

寫眞は

一、首相訓示







◎常陸丸殉難祭典

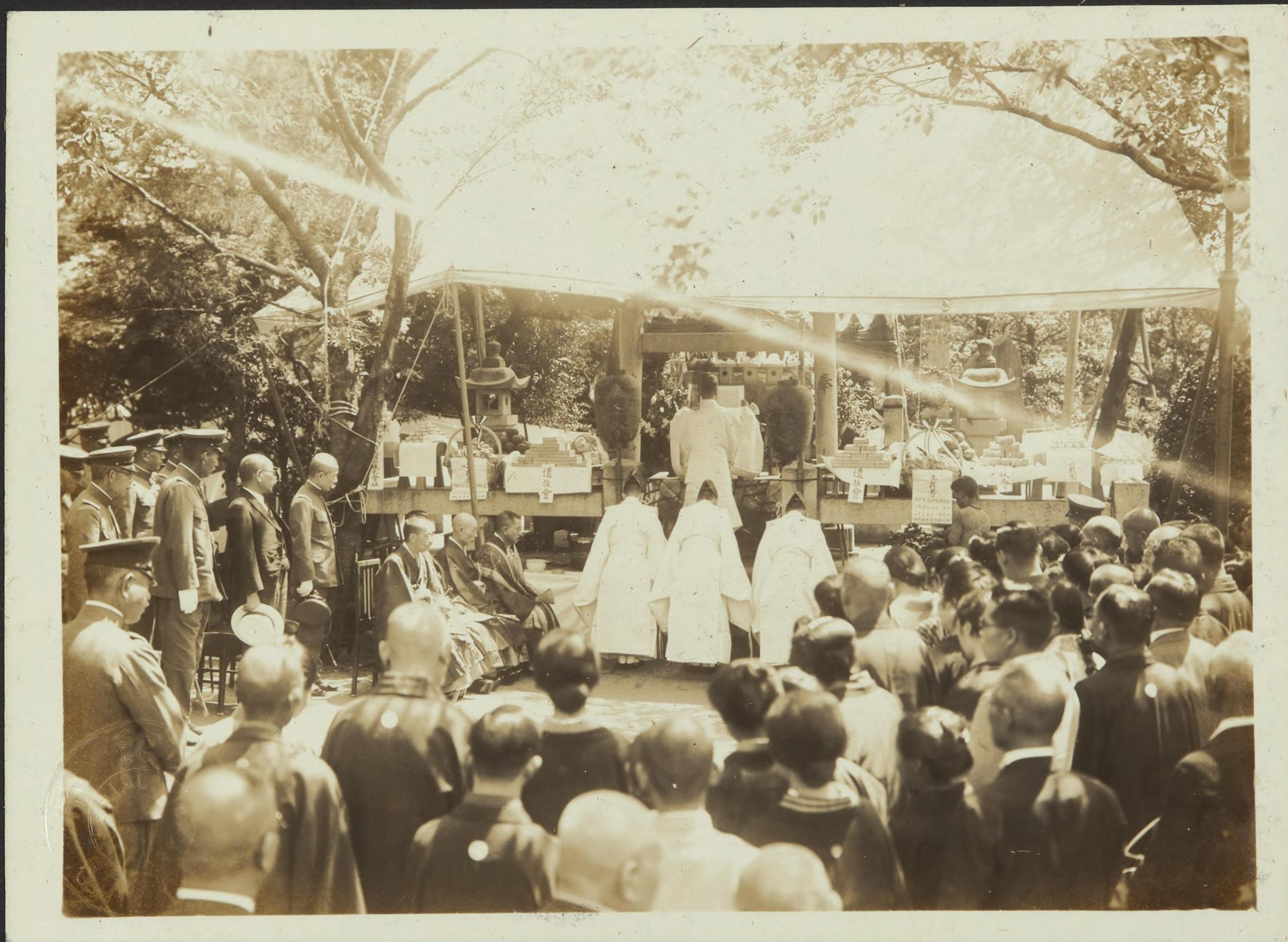
(東京) 十一年六月十五日

常陸太遭難以來早くも三十三年、十五日はその記念すべき當日になるので午前十時から青山の共同墓地にある同碑前で玄海灘で恨みを吞んで悲壯な最後を遂げた故須知中佐以下六百三十余名の祭典が行はれた

寫眞は

一、慰靈祭







◎日食御座んなれ  
—小學生まで觀測熱—



(東京) 十一年六月十六日  
アト三日に迫つた天体異變、二分間のスリル  
「日食」を狙ふ各地の觀測熱は彌が上にも昇  
つた、各デパート、商店ではこれを目当てに十  
錢位の觀測眼鏡や十五圓位の天体望遠鏡を賣  
出したがこれが亦羽が生えた様に賣れて行く  
殊に兒童達の神秘に對する期待は大きく先生  
もこのために特に時間を設けて天文地理の賣  
地教授に大奮となつてゐる高輪の森村小學校  
ではサンダラス三百個を兒童に配つて黒衣の  
太陽の觀測豫行をやり地球儀を前に地理の説  
明をやつてゐる

寫眞は

一 森村小學校にて















（東京）十一月十六日イセリ

◎キヤツチする驚異の二分間

（女滿別）特派員十五日發 驚異の二分間をキヤツチするため巨  
 大の費用と人智とを注いで完成された「科學砲臺」は存に四十を致  
 へ勝れた砲手の群れと共に「神秘の黒陽」を壓倒するもの様に空  
 への凝視を續けてある、英國ケムブリッジ天文臺、東京天文臺、中  
 央氣象臺、京大花山天文臺、東大天文學、同物理學教室、中華天文  
 臺、チエコ天文臺、一世界を擧げて選りすぐつた科學の寵兒は落葉  
 松の岡に、オホーツクの荒磯に、白樺の原野に、水芭蕉咲く瀕邊に  
 一一分けても女滿別に集中された東京觀測部隊は名實ともに我國太  
 陽研究の權威を網羅し重量三噸半、長さ九尺のアインスティンカメ  
 ラで黒衣の太陽を射る早乙女滿房博士は一九〇一年スマトラの日蝕  
 觀測を振り出しに五回の觀測に深い經驗を持ち十一名のメンバを  
 擁して遠藤農場に頑固な五棟の要塞を建造して手具程引く開口部隊  
 の陣營は二臺のシロスタットに六つのブリズムを付け四吋赤道儀  
 二臺を並べ大成部隊の今道中央氣象臺技師は磁氣、地氣の變化、氣  
 壓、照度を含む皆既蝕の外廓變化を衝かうと延長二十四軒の觀測網  
 を張つてある、寫眞は

一、十二時アインスティン・カメラを動かす早乙女博士

二、測定室より出る地磁氣觀測の今道技師

三、四吋赤道觀測望遠鏡の前に立つ開口博士

四、女滿別風景

（北海道地方契約社に對しては現地より配給済）猶ほ當日の撮影不  
 可能につき豫行を當日用として撮影しました















◎神宮御苑公開

(東京) 十一年六月十八日

神宮御苑、鬱蒼たる森林と清涼たる霧谷の間に見事な菖蒲が花を敷いてゐる。十八日皇族の方を御招待、十九日、二十日、神宮關係者の拜觀、二十二日頃より一般に公開。拜觀を差許さるる筈

寫眞は

一、咲き誇る神宮御苑の花菖蒲



Small decorative label or stamp in the top left corner of the album page, featuring a floral or geometric design.





◎菅笠、紅袴がけで

「田植の唄もいとし五月女！」

(東京) 十一年六月十八日

菅笠、紅袴がけでいとし乙女達の唄ふよ「並ぶ菅笠諸聲あげて、唄もいとし五月風、聲を揃へて田植の唄もいとし五月女紅袴」  
下目黒の日の出高女では勤勞思想を鼓唄する趣旨で十八日午前八時半から校内伊勢太廟遙拜殿前に設けられた約四坪の神田で各學級から選ばれた生徒達の田植があつた、その周圍を取り巻いて在校生達の「田植音頭」勇ましく歌ひ且つ舞ふのどかな風景

寫眞は

一日の出高女の田植



Small decorative label with illegible text and a red seal.





◎シヤモが太陽を生かしてくれる  
I アイヌ老夫妻の恐怖I

(女滿別特派員) 六月十九日發

「カムイ・エ・ラキヤ (お天道様が死ぬんだと)」皆既の黒いベルトに蔽はれた宗谷、北見、十勝の白樺の森のなかに神秘の傳説と忘れられた詩の夢をむさぼりた、滅亡をまつ先住民族アイヌ達は昏れ行く眞晝の太陽に恐怖の叫びをあげた、阿寒のコトニヌブリの山籠りから半年振りて可愛いメノコを連れて美幌のアイヌ部落古潭に歸つて來た古老テシベ (七一) はびつくりしてまづ水と太陽と月の神様に濁酒を捧げて悪魔を拂ひ給へと祈つた後戶外に出て夫婦聲を合してエ・ホーキヤ・イヌバホーネ (生きておくれ) と話け行く日光に哀調を帯びた呪文を繰り返へした、「婆泣くなよ、シヤモ (日本人) が澤山來てカムイ (太陽) を活かしてくれるんだとよ」とテシベ老人は頼もしく妻を慰めてゐた

寫眞は

一、テシベ老夫婦



Small decorative label or stamp in the top left corner of the page, possibly containing a name or date.





◎天駟ける黒衣の太陽  
I 空晴れて宇宙の神秘顯る I

(東京) 十一年六月十九日

伊太利の南、地中海から南洋の果まで北半球の天空をおほらかに、  
壯麗に黒布の男陽が駟けめぐる皆既日食の日は遂に來た、待望の六  
月十九日 I 董色に塗りつぶされた太陽、眼くるめく光冠、妖しく  
も美はしい白夜の薄明、遠き我等の祖先にとつては解き難き謎の恐  
怖であつた蒼穹の神秘がこの日こそ科學のメスによつて鋭く抉られ  
た、皆既地帯のシベリアに、北滿に、北海道に華やかに展開された  
觀測散兵戦には望遠鏡とコロナグラスと赤道儀が放列を布きその他  
部分食の各地でも學者といはずアマチュアといはず夫々手ぐすね引  
いて午后を待つた、一千金の一分五十九秒 I 北海道からは完全にキ  
ヤッチしたとの快報があつた、東京地方は朝來五月雨瀟條と降り續  
けてゐたが是亦午后雲多けれど雨上り市中到る處空への娯味が向け  
られた

寫眞は

- 一、その一瞬を待つ外人部隊と觀測小屋 (上斜里)
- 一、銀座デパート屋上より
- 一、平生文相も街頭に立つて



5  
5





同盟 寫眞ニュース（番外）

◎その日の貴重な二分

↑上斜里、女滿別より↑

（上斜里、女滿別にて特派員六月十九日發）  
お、待ちに待った十九日の午後三時二十一分  
太陽は完全に黒衣を纏うた、惠まれた女滿別  
の氣象臺及び早乙女班は雀隨完全に之をキヤ  
ッチする、然るに恨みは深き上斜里の外人觀  
測隊、曇天、密雲深くして遂に長蛇を逸し英  
國ケムブリッチ班、米國班、インド班など切  
齒扼腕、遂に不成功に終つたことは遺憾に堪  
へない

寫眞は

一、經過發表のストラットン博士とアマチユ

アの觀測（上斜里にて）

一、お、黒きこの太陽（女滿別早乙女班にて）



Small decorative label with illegible text and a red border.





◎オリムピック代表軍本隊出發

(東京) 十一年六月二十日

第十一回オリムピック大會我が代表軍本隊平  
沼團長以下百五十名は二十日午前七時原宿驛  
集合、竹内蹴球チーム主將の揮持する日章旗  
を先頭に明治神宮參拜、次いで二重橋前に到  
り宮城遙拜後午前十時二十分東京驛發臨時オ  
リムピック列車に分乗晴れの征途に登つた

寫眞は

- 一、宮城遙拜
- 一、東京驛前
- 一、女子水上軍
- 一、お茶の水沼團長



5  
5









5





同盟 寫眞ニユース 第一號

◎神宮御苑花菖蒲公開

(東京) 十一年六月廿一日

明治神宮舊御苑内の花菖蒲は幽邃なる森林、  
溪谷を挟んだ畔に今を盛りと咲き誇つてゐる  
が例年の如く廿三日から八日間晴雨に拘らず  
毎日午前八時から午後五時まで一般に公開を  
許可されることになつた、拜觀者は不敬にわ  
たらぬ程度の服装、履物は靴、草履、駒下駄  
に限るとのこと

寫眞は

一、招待日の御苑



5





同前書三十一号三十一日

◎サヨナラトキオ

駿河佛蘭西大夜ノモト

ヒラカキキアハシヨ内供年

二年三村在東駅及別

本と男同すことなるに

二年前に三村、まゝある大待給

に記すに別にして別記し

はしとキオとあること

在任中、給給のたし

は地、あること

おぼえ、一茶、後

〇〇〇



5  
6





同盟 寫眞ニュース 第三號

◎全國高等學校長會議

(東京) 十一年六月廿二日

全國高等學校會議第一日は廿二日午前九時より文部省會議室に於て開會

森一高校長以下官公立各高等學校長、北大、外務科主事等四十餘名、本省側平生文相、山本、河原兩次官、作田參與甘、伊藤専門學務局長並關係官出席

勞頭平生文相より訓示の後も議事に入り協議懇を順次附議し正午一旦休憩午後一時再開協議を續行した

寫眞は

一、平生文相の訓示



5





◎新行刑方針の確立と協議

1 刑務所長會同開かると

(東京) 十一年六月廿二日

時代に適應すべき行刑方針の確立を主眼とする全國刑務所長會同第一日は廿二日午前八時半から司法省會議室において開會、本省、裁判所、刑務所、植民地、海軍省、本願寺等より夫々關係者參集、林法相より時代に適應する行刑の新指針を示す訓示があり續いて長島次官は行刑の各般に亘る事務的注意を與へ岩松行刑局長は教化、衛生、作業、戒護、指紋吏道振肅等に關して指示をなし午前の日程を終了、午后は一時から官邸會議室において協議會に入つた

寫眞は

一、林法相の訓示



5





◎英帝御誕辰日を御祝賀

(東京) 十一年六月廿三日

英國皇帝エドワード八世陛下御即位あらせられて廿三日は日出度き初の御誕辰に當るので天皇陛下には同皇帝に對し御懇篤なる御祝電を御發送あらせられたが更に午前十一時麹町一番町の同國大使館へ勅使として松平式部長官を御差遣、クライヴ大使に對し町重に祝意を述べられた

寫眞は

一英國大使館にて